淀川区教育行政連絡会「小学校の部」議事要旨

日 時 平成 28 年 5 月 31 日 (火) 13:30~15:00

場 所 淀川区役所 5 階 502 会議室

出席者 学校長：新東三国 東三国 北中島 宮原 西三国 三国 新高 西中島
木川 木川南 十三 野中 神津 塚本 田川 三津屋 加島

区役所：淀川区長 教育支援担当課長 教育支援担当課長代理 教育支援担当係長
傍 聴：0 人

資料 1 睡眠習慣改善に向けた各校の取組(H27.11-H28.3 実施状況)

資料 2 H28 運営の計画 取組反映状況一覧(中学校/小学校)

資料 3 睡眠・スマホ等 ルール化必要性についてのアンケート
(小学校/中学校)

資料 4 -① 学校協議会運営状況モニタリング

資料 4 -② 学校協議会運営状況モニタリング 24 区

資料 5 SSW にかかる校内研修会 実施要領

資料 6 倉敷宣言について紹介

資料 7 LGBT ハンドブック～性はグラデーション～

【次第】

司会：教育支援担当課長

◎区長あいさつ

◎議題

《1 生活習慣の改善に向けた各校の取組について》【公開】

《2 小中学校の運営の計画について》【公開】

《3 睡眠・スマホにかかる統一ルールの設定について》【公開】

《4 その他》【公開】

・説明：区長、教育支援担当

・各議題について意見交換

議題1 睡眠習慣の改善に向けた各校の取組について

(区より説明)

- ・ 昨年度中から、子どもの睡眠習慣についての問題意識を共有してきたこともあり、各校で様々な取組を進めていただいている。

議題2 小中学校の運営の計画について

(区より説明)

- ・ 睡眠の取組・学校への関心を高める取組、この2点に関しては、効果検証をしっかりとしていくためにも、運営の計画への掲載を依頼してきた。

(意見交換)

- 学校協議会にもっと傍聴にきてもらえるよう、要綱を改訂して傍聴人数上限を増やしたり、幼小連携を図る等取り組んでいる。

議題3 睡眠・スマホ等にかかる統ルールの設定について

(区より説明)

- ・ 睡眠とスマホ使用について、区から統一的にルールを示せないかと考えた。事前に学校あてに、区での統ルールの設定についてのご意見を伺ったところ、睡眠については、17校中9校が区単位でルール化すべき、6校が学校単位でルール化すべき、2校がルール不要との結果だった。スマホについては、9校が区単位でルール化すべき、5校が学校単位でルール化すべき、3校がルール化不要との結果だった。
- ・ なんらかのルール化が必要との意見の学校が多かったことから、形にしたいと考えるがいかかがか。

(意見交換)

- 睡眠に関してはルールを示すのに賛成。スマホに関しては、それ自体はツールなので、使用ルールは各家庭で考えるように働きかけたほうがよいのではないか。
- 長期的に取り組むことが重要。キャンペーンとしてのルール化に賛成する。
- 睡眠時間について、保護者の意識づけのためにも、望ましい睡眠時間の目安があればよいと思う。
- スマホに関しては、持たせていない家庭もある、持っていない子もいる、という点を考慮してほしい。
- 学校で携帯やスマホを預かっている。携帯を持たせるという家庭の方針にも対応せねばならない。
- ルール化と言われると身構えてしまう。キャンペーンのような意味合いならば受け入れやすい。
⇒おっしゃるとおり、罰則のあるルールではなく、キャンペーン、スローガン、そのようなイメージだ。
⇒スマホだけではなく、ゲームなど、睡眠を阻害する要因をすべて包括して考えている。
- スマホに関しては、使用モラル、という点からも心配になる面がある。
- 保護者への啓発を重ねているが、なかなかすぐに効果を感じるころへは至っていない。

⇒区で統一的にルール設定してくれれば、家庭でも指導しやすい、という PTA からの意見もあった。

⇒ご意見調整し、区としての提案ルールをまたお示しする。

議題 4 その他

(区より説明)

- ・ 学校協議会運営状況のモニタリングについて。学校協議会の運営の手引きで定められたルールにのって運営されているか、区としてモニタリングしている。
- ・ スクールソーシャルワーカー(以下 SSW)にかかる校内研修会について。SSW に関し、現場の先生方の理解を深めてもらうための研修会を新規事業として実施している。必要に応じ、活用を検討された。
- ・ 倉敷宣言について。G7 の教育相会合が先日倉敷で開催され、性的少数者で悩む子どもたちへの支援の必要性も認識された。淀川区では、LGBT を先行して支援してきており、学校現場へ LGBT ハンドブックの配布等にも取り組んできている。